

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和元年度 第4回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局（担当課）		庶務課
開 催 日 時		令和2年2月20日（木）午前11時～正午
開 催 場 所		豊島区役所 教育委員会室（本庁舎8階）
議 題		(1) 評価結果報告 (2) その他
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0 人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	工藤豊太 細谷美明 福元保子（敬称略）
	そ の 他	教育長、教育部長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、 教育センター長、統括指導主事
	事 務 局	庶務課長、教育政策係長、同主事

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
工藤委員長 副島庶務課長 工藤委員長	<p>それでは、ただ今より、「第4回教育に関する事務の点検・評価委員会」を開会いたします。</p> <p>まず、事務局より、本日の傍聴について報告をお願いいたします。</p> <p>本日の傍聴希望者はありません。</p> <p>もし傍聴者がいる場合は、速やかに室内に入れるようにしてください。</p> <p>お願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>本日は、これまでの審議に基づいた、評価の結果を報告します。</p> <p style="text-align: center;">【委員長より評価結果の報告】</p> <p>それぞれ私たちの意見の中で、ABC評価の基準をどこに置くのが非常に難しいものでした。どこまでが有効性で、どこまでが効率性なのかということ、しっかり3人である一定ラインの基準を合わせて話し合いに入りました。そこで、各委員の評価が分かれることもあり、その辺りを整理した次第でございます。ただし、各委員からの申し出で、実は豊島区の教育委員会はしっかりやっている、凄いことをやっているという思いで、本当はオールAではないかという意見もありました。しかし、やはり公的な文書ということであり、教育委員会にこれからももっと頑張ってもらいたいという思いもあり、また教育委員会のみならず、やはり区長部局および一般区民の皆様方等に提示していくわけですから、この部分はやはりもう少し予算にしても将来的なこと見据えて委員会業務を進める必要があるのではないか、という視点を踏まえてBという観点を示した部分もあるということでございます。そこが一番低くなっているという意見ではございませんので、その辺りを踏まえて今後の業務に邁進していただければと考えております。</p> <p>それでは、各委員から今回の評価をするにあたって、何かご意見やコメントがあれば述べていただければと思います。それでは細谷委員お願いいたします。</p>
細谷委員	<p>最初に自己紹介でも申しましたが、これまで私はいろいろな自治体を経験させていただきました。これまでの委員会をとおしまして、豊島区は厳しい財政事情の中で、本当によく子どもたちのために教育予算を確保し、そして効率よく有効的に執行しているなという印象を持ちました。注文をいくつか付けておりますが、あとでお読みいただければと思いますが、これからもこうした施策をさらに有益なものにするためにも、より具体的な基準を持って、学校の実情もよく把握して、そして柔軟かつ迅速に対応していただければという期待を込めての評価だと受け取っていただければ幸いです。今日まで大変貴重な機会をいただいて、スタッフの皆様にも感謝したいと思います。ありがとうございました。</p>

工藤委員長 福元委員	<p>細谷委員、ありがとうございました。では福元委員お願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。こちらの評価を付けさせていただくにあたって、私は区民としての感覚を活かして意見を申し上げたつもりです。評価させていただきまして、本当に限られた予算と人材の中で、最大限の活動で結果を出していただいているということのを再認識しながら、一つ一つ評価を付けさせていただいております。私も大変勉強になる委員会でした。ありがとうございました。以上です。</p>
工藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、8ページを開いていただけますでしょうか。先ほど、細谷委員また福元委員からございました、効率性と有効性の評定がそこに記載されておりまして、判断理由が明記されておりまして、その部分の行間の中に、評価のA, Bに至った私たちの「想い」が入っていると捉えていただければと思います。この辺が、これからの教育委員会のいろいろな状況に反映されてくるのかなと期待しております。これが8ページの内容でございます。</p> <p>10ページをご覧ください。これが「いじめの防止対策の推進」事業の部分になります。効率性はAということで、「Hyper-QU」等々の部分が反映されております。有効性がやはりBということで、ここの部分はもう少し考えていけないといけないのではないかという指摘があります。お読みいただいて、なお一層の業務の発展を願っているところでございます。</p> <p>それでは次に、12ページをご覧ください。小中学校の移動教室事業についてです。これは、保護者代表でもあります福元委員からも、保護者はもっと教育委員会に感謝すべきだと、力強いお言葉をいただいております。交通費全額支給、それから宿泊費用が一部となっていたところを修正させていただいて半額と明記させていただきました。金銭に関することですので、当たり前ではなくて、これだけ子どもたちのために教育委員会が努力しているということ、ぜひ分かっていたいただきたいという意味合いを込めて評価をAとしております。今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>それでは子どもスキップに関する部分ですが、14ページをご覧ください。ここは効率性B、有効性Aという評価になっております。特にこの事業評価については時間がかかりました。と申しますのは、やはりこの事業が縮小することはなく、拡大する一方であるといことを前提に立ちますと、学校教育の中では障害等を抱えているお子様への配慮というのは非常に今重視されております。巡回指導教室等、様々なことが行われております。しかしそれが放課後対策となってくると、その部分がそこまで配慮されているのか、という疑問があります。そこで効率性の判断理由の最後の部分ですが、「さらに、配慮が必要な子供や日本語が十分でない外国籍の子供の対応も重要である。」と、こういういろいろなお子様たちが今後も入ってくる、または増えてくるのは当然だと。それに対して、ただ放課後も受け入れるだけだと、この事業がいかげなものかという部分の指摘をさせていただきました。</p> <p>当然、有効性についてはこの事業なくして子どもたちの健全な育成は図れ</p>

ないという立場に立っているわけですので、今後とも大変人数の少ない状況の中で人材確保は難しいと思いますが、頑張ってくださいという思いでございます。

最後に16ページの学校施設改築・改修の事業でございます。先日、巢鴨北中学校を視察させていただいて、各委員とも、改築・改修の工夫具合、一回の建設が次の改修に活かされ、またそれがさらに活かされていることに感銘を受けています。また、お金も限度がありますので、その中でどのようなデザインをしているのか、やはり豊島区は先行を持って示しているという評価でございました。

これもただ建築イコール教育の質も、となるとスピードを持ってこの事業を展開しなければいけない、これは国の施策でもあると思いますので、大変な事業であると理解しておりますが、ぜひ一層お励みいただき頑張ってください、「教育都市としま」の名に恥じないことになるかと思っておりますので、宮本課長よろしくお願いたします。

以上を持ちまして、評価の詳細について若干触れさせていただきました。各委員の皆様方からのご協力をいただきながら報告書を作成できたということをご協力に感謝申し上げます、教育長に報告書をお渡ししたいと思います。よろしいでしょうか。

【教育長、前へ出て、報告書受領】 — 写真撮影 —

ただいま報告書を金子教育長にお渡しいたしました。それでは、金子教育長、ご挨拶とコメント含めていただければありがたいと思います。

ありがとうございました。

今回の評価委員会については、12月から2月ということで、ご熱心にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。特に、先月は巢鴨北中学校で、学校現場を揃って視察いただきまして、ありがとうございました。気持ち的にはオールAと言っていたただけでも、非常に応援をしていただいていると受け止めさせていただきました。さらに、もう少しという評価をいただいた点については、我々もご指摘のとおりと思うことばかりでございます。ICTの件もそうですし、心理検査のやり方等、今後も見直していこうと今日も話をしていたところでございます。しっかりといただいた評価を受け止めて、改善に向けて努力をして参りたいと思います。本当に4回に渡り、ありがとうございました。

教育長ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第4回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。

どうもお疲れ様でした。

ありがとうございました。

金子教育長

工藤委員長

全員

————— 閉 会 —————

提出された資料等	<ol style="list-style-type: none">1. 令和元年度教育に関する事務の点検・評価報告書2. 参考資料（これまでの提出資料）
----------	--